

若者の地元定着及び人材確保に向けて、村山地域の関係団体・機関41団体と村山総合支庁は、お互いの取組みの情報共有を図り、地域全体で若者の県内定着・回帰に向けた機運を醸成するために、平成30年7月に「オールむらやま若者定着推進会議」を設立しました。

「むらやま若者よい！よい！通信」は、若者定着に向けた「オールむらやま若者定着推進会議」の構成団体の取組みをお知らせするため、令和元年9月より発行しております。

オールむらやま若者定着推進会議 構成団体の取組み

学生等の地域産業理解促進事業（山形県村山総合支庁）

【各校の主な実施内容】

<p>山形東高等学校 (R4.9.29) 【郷土研修】</p> <p>[内容] 1 講演会 「山形の産業と企業の現状について」 山形大学 准教授 吉原 元子 氏 2 企業訪問（2年生のみ） 村山・置賜の企業 10社</p> <p>[対象] 1、2年生（479名）</p>	<p>山形南高等学校 (R4.12~R5.1) 【「公共」の課題】</p> <p>[内容] 山形のものづくりに係る 動画（匠人 VOICE）の 視聴・レポート作成 （視聴企業） 佐藤繊維(株)、菊地保寿堂、 NEC パーソナルコンピュータ(株)、 ワテック・サービス(株)</p> <p>[対象] 1年生（約240名）</p>	<p>山形西高等学校 (R4.7.7) 【探究講演会】</p> <p>[内容] 県内各分野の講師による講演 （7分科会） 「山形を知る～持続可能な 発展のために～」</p> <p>[対象] 1年生（202名）</p>
--	--	---

進学校が実施する、生徒の地域産業理解促進を図る講演会、企業訪問等の開催支援

県では、県内企業や地域の産業情報に触れる機会の少ない進学校の高校生に、県内企業の魅力や地域の産業界で働くことの意義を伝えるため、地域の経営者の思い・地域で働く先輩の経験談等を聴講するセミナーや地元の企業訪問等を実施する進学校の支援を行っています。



生徒からは、「山形の知らない企業について知り、他の山形の企業にも興味が湧いた」、「地域に密着した活動に取り組んでおり、山形の未来を真剣に考えているのが伝わった」などの声をいただきました。

県では、引き続き、県内企業の魅力等を高校生等に発信してまいります。



<p>寒河江高等学校 (R4.6.23) 【キャリア講演会】</p> <p>[内容] 県内で活躍する先輩職員の講演 山形大学、(株)デンソーFA 山形</p> <p>[対象] 1年生（約200名）</p>	<p>東桜学館高等学校 (R4.7.7) 【地域企業等との交流事業】</p> <p>[内容] 県内企業で働く職員の講話 「1滴の唾液が教えてくれる、からだのこと」 (株)サリバテック</p> <p>[対象] 1年生（192名）</p>	<p>東海大学山形高等学校 (R5.1.12) 【就職講演会】</p> <p>[内容] 民間講師による就職講話及び山形県産業に関する県職員講話</p> <p>[対象] 2年生就職希望者（約65名）</p>
---	--	---

ものづくりガイドブック(小学生向け)・職場体験学習ガイドブック(中学生向け) (天童市)



天童市では、市内の小学生(3、4年生)向けに市内の事業所を紹介する「ものづくりガイドブック」と、市内の中学生(1、2年生)向けに職場体験学習にご協力いただける事業者を紹介する「職場体験学習ガイドブック」を製作しています。

ものづくりガイドブックは市内で生産されている身近な商品・製品を題材に34事業者を掲載しています。職場体験学習ガイドブックはこれまで職場体験の受け入れをしていただいた事業所やホームページ等で公募し、協力いただける89事業者を掲載しています。



どちらのガイドブックも、市内の事業所について興味を持ってもらい理解を深めてもらうとともに、将来の職業選択への活用、そして、市内における就労の促進を目的としています。令和4年度版は完成後、天童市ホームページに掲載しますのでぜひご覧ください。

次世代の地域づくり中核人材育成事業「やまがた放課後ラボ」(山形県教育庁村山教育事務所)

「やまがた放課後ラボ」では、高校生の思いを形にしていくことをコンセプトに、山形市内の高校生15名を参画者として迎え、青年ファシリテーターとともに活動を進めてきました。



「高校生の居場所がほしい」という思いを持った参画者は、山形市中央公民館の改装に向けて、高校生が集まり語れる場づくりを設計士へ提案しました。「ごみのポイ捨て」に問題意識を持った参画者は、多くの人に関心を持ってもらうために、「拾(ヒーロー)」というゴミのポイ捨て問題を題材にしたボードゲームを完成させました。これらの実践に協力した参画者は、自分自身の提案を実践したいという来年度に向けた意欲を高めていました。



こうした経験が地域づくり参画への意欲につながっていくことを願い、若者の思いを実践する場、人とつながる場をこの事業でつくっていきます。

ふるさとを語れるようになろうプロジェクト (西村山地域広域連携協議会)

当協議会では、若者の地元定着、将来的な地元回帰等を目的に、「高校における取組みの支援」「地元の文化・企業を知るバスツアー」「高校生と社会人の交流会」を実施しています。

高校における取組みの支援では、寒河江工業高校1年生を対象に地元企業の紹介を、左沢高校2年生(果樹科目)を対象に果樹栽培に関する講義を行いました。



また、バスツアーでは谷地高校3年生・左沢高校1年生が地元の工場、歴史・文化施設を訪問。参加した生徒からは「すごい会社が身近にあると知ることができて良かった」との感想をいただきました。社会人との交流会では、左沢高校1年生が様々な事業所で活躍されている方との対話を通じて「働くこと」や「生き方」について学びました。引き続き管内高校及び企業等と連携しながら、若者の地元定着等を推進するため、プロジェクトに取り組んでまいります。